

RM さんのお母様のお便り

私は妊娠7ヶ月のとき、検診時のエコーで、「赤ちゃんの心臓の形が少し違うので、専門の病院を紹介します」と言われました。なんの不安もなく日々すごしてきたのに・・・私の赤ちゃんの心臓、何がどう違うの？何に影響があるの？ふつうに産めるの？ふつうに生活して生きていけるの？普通の生活はできないの？ふつうの心臓がどうゆう働きをしてどのような形をしているのかさえわからない私に“少し違う形”と言われても、何が何だか解りませんでした。こども病院の予約日までは10日ほどあり・・・その間は頭の中でいろいろ考えました。涙も出るし・・・。しかし泣いてもいけない。上のお姉ちゃん(2歳)もいるし・・・友達から私に「どう順調？」なんて話しかけられるし・・・。

一日も早くお腹の中の子の診断名がほしかったです。

9月19日、こども病院の初外来。詳しくエコーで見てもらい、赤ちゃんの病名・出産までの事・出産時の対応・出生後の事(手術など)・リスクはたくさんあるけれど成功すればふつうに生活していける、との事を先生からお聞きしました。すごく安心しました。いろいろな不安はもちろんありますが、この時は不安なことが“さーっ”とひけた気持ちでした。私の中で“とにかくこの子を予定日までお腹の中で元気に育てよう！”と思い、心の準備ができました。予定日前、1か月は入院が必要という事になったので、上の子を保育園に預ける手続きをして、入園に備え準備することもできました。病院にカウンセリングの方がいてくれたので、旦那も私が泣く事を少し理解してくれたようでした。その事も出生前診断を受けてよかったと思うことの一つです。

入院中、いろいろな病気の子のお母さんと話す機会があったり、ゆっくりと過ごす時間がたくさんありました。普通のお産の人生ならこのような時間はありませんよね。私のお腹の子・病気の子、生まれてきたら大変でもしっかりがんばるぞ！しっかり育てるぞ！。パワーが充電できた期間でもありました。

12月14日、無事出産。あとは出生前から診察してもらっていた先生にすべてをお願いするのみです。出生後、24時間体制の病院の中で、順調に育ち、1か月後無事退院。月1回の検診を受け、平成16年2月に1才2ヶ月で初の手術。グレン手術を受けました。手術においての不安はありますが、先生がリスクについてもしっかり説明をしてくれてあったので、すべてをおまかせするのみでした。安心・信頼できる病院が近くにあったので本当に良かったです。

今の私は元気に子育てができています。手術後、在宅で酸素を使用する期間がありましたが、その間も携帯酸素をつけた子供をつれ、私の習い事であるエアロビクスに出かけ楽しい汗を流しています。

わが子が病気・・・。事実を受けとめるまでにはどうしても時間がかかります。私はその時間をあたえてもらいました。出生前診断を受けることができてよかったです。たくさんの先生に感謝です。次のフォンタン手術まで、この子を健康に体力ある子に育てたいです。